

各 位



2020年4月14日

会 社 名 綜研化学株式会社
代表者名 代表取締役社長 逢坂 紀行
(コード番号 4972)
問合せ先 取締役 執行役員 管理本部長 滝澤 清隆
(TEL 03-3983-3268)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2019年10月29日に公表した2020年3月期の業績予想について、以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2020年3月期通期 連結業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	29,000	1,900	1,650	1,300	157.07
今回修正予想 (B)	28,500	2,050	1,850	1,650	200.09
増減額 (B-A)	△500	150	200	350	
増減率 (%)	△1.7	7.9	12.1	26.9	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	31,295	2,113	2,037	1,462	176.55

2020年3月期通期 個別業績予想数値の修正 (2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,000	1,200	1,000	120.82
今回修正予想 (B)	16,000	1,350	1,200	145.52
増減額 (B-A)	0	150	200	
増減率 (%)	0.0	12.5	20.0	
(ご参考) 前期実績 (2019年3月期)	18,128	1,545	1,276	154.08

2. 修正の理由

2020年3月期通期の業績につきましては、ケミカルズの需要に回復の動きが見られたものの、国内での設備投資に対する慎重姿勢が続くなか装置システムの受注が伸び悩み、売上高は想定を下回る見通しです。一方、利益につきましては、コスト削減に努めたことや、中国持分法適用関連会社の出資持分譲渡に伴う法人税等の減少、黒字基調に転じた中国子会社での繰越欠損金に係る繰延税金資産の計上などにより、前回公表値を上回る見通しであります。

なお、コロナウイルス感染拡大による事業環境の悪化が懸念され、現在情報収集に努めており、今後の事業活動や業績に対する具体的な影響が判明しましたら速やかにお知らせいたします。

(注) 当資料に記載している業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上